

はしど

練馬区立橋戸小学校
学校だより 第2号
令和元年 5月 7日
校長 青木 俊哉

<http://www.hashido-e.nerima-kyo.ed.jp/>

☆学校教育目標 考える子・思いやりのある子・たくましい子

一芸に秀でる

校長 青木 俊哉

校長室入口の右側の壁面に、米満達弘さん、木村敬一さん、信田美帆さんの写真と簡単な紹介が掲示されています。校長室に来られるお客様の中にも、この写真に気がつき話題とする方がいますし、保護者や子供たちも、思い出したように眺めています。この3人に仲井健人さんを加えた4人の方々は、この2年間に本校でご講演いただいたトップアスリートの皆様です。プロフィールを簡単に紹介します。

*米満達弘さん…元レスリング選手 2012ロンドン五輪、フリースタイル66kg級金メダル獲得

*木村敬一さん…競泳選手 北京、ロンドン、リオデジャネイロパラリンピック出場

ロンドンとリオのパラリンピックにて、それぞれ複数のメダル獲得（銀・銅）

*信田美帆さん…元体操選手 1986全日本体操選手権優勝 1988ソウル五輪出場

*仲井健人さん…デフサッカー・フットサル選手、同日本代表 2017デフリンピック出場

4人の方々は、それぞれの競技の第一人者であり、国際的な競技会で実績を残し、日本代表としてプレーしてきた方々です。「一芸に秀でる」という言葉がありますが、まさに“一つの道で頂点を極めた”素晴らしい方々です。“道を極める”ためには、おそらく限界まで自分を追い込み、心と体を磨き、力と技を身に付ける必要があります。大きな目標を達成した人、達成のために力を尽くした人にしか味わえぬ思い、見えない世界があるはずです。この方々からでないといけない話を聞いたことは、子供たちにとっても大きな価値のあること、貴重な機会だったと思います。

昨年度のことと言いますと、元体操選手の信田さんには全学年の児童にマット運動や跳び箱運動の授業をしていただきました。難しいことを要求するのではなく、基本的な動きを丁寧に解説、確認し、学年の実態や個々の子供の技能に応じて技を加えていくような流れでしたが、信田さんが発する言葉が、子供たちにすうっと入っていくのが印象的でした。“極めた方の言葉”、見事なものでした。デフサッカーの仲井さんには、全校児童へのお話と高学年の児童との実技の機会をお願いしました。子供たちは、聞こえないというハンディを全く感じさせぬやりとりに驚くと同時に、一緒にプレーすることを通してコミュニケーションの大切さを感じていったはずです。また、デフサッカーについて調べる中で、「オリンピックは平和を守り、パラリンピックは勇気を生み、デフリンピックは夢を育む」という言葉に出会ったことは、衝撃的でした。“平和、勇気、夢”、子供たちに伝えたいメッセージは、ここにありました。

順風満帆に選手生活を終わられる方など、おそらくいないだろうと思います。競技を続ける中で、どん底のような状態を経験したり、挫折から這い上がったり…、“極めた方”の生き様から学ぶこと、直接話を聞くことで実感できることはたくさんあります。

タイトルにもした「一芸に秀でる」は、「一芸に秀でるものは、多芸に通ず。」と言うことわざから来た言葉です。本校の子供たちにも、好きなことや目標に向かって頑張ることをきっかけに、一つのことだけでなく、他のことにも興味・関心を持ち、つなげ、広げられることを期待しています。

元号が令和になり、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会もいよいよ一年後に迫りました。今年度もオリンピック・パラリンピック教育を推進し、子供たちの運動への興味・関心を高め、体力向上に努めてまいります。まずは、今月下旬に実施する運動会にて、子供たちが競技や演技に全力で取り組む姿や頑張る様子を見ていただけるよう、各学年練習を始めています。当日は、ぜひご来校いただき、“熱い声援を”お願いいたします。